

30

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 1 年 6 月 2 7 日
Date of Application:

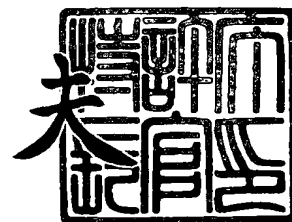
出 願 番 号 特 願 2 0 0 1 - 1 9 3 9 0 7
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 1 - 1 9 3 9 0 7]

出 願 人
Applicant(s): カネボウ株式会社
 株式会社吉野工業所

2 0 0 3 年 1 2 月 1 0 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 00-12-38

【提出日】 平成13年 6月27日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 B65D 83/14
B65D 83/30
A46B 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県小田原市寿町 5 - 3 - 2 8 カネボウ株式会社
化粧品研究所内

【氏名】 神保 圭治

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区海岸 3 - 2 0 - 2 0 カネボウ株式会社カネ
ボウ ホームプロダクツ内

【氏名】 濱田 知実

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区海岸 3 - 2 0 - 2 0 カネボウ株式会社カネ
ボウ ホームプロダクツ内

【氏名】 石川 桂子

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区海岸 3 - 2 0 - 2 0 カネボウ株式会社カネ
ボウ ホームプロダクツ内

【氏名】 青木 芳恵

【発明者】

【住所又は居所】 東京都江東区大島 3 丁目 2 番 6 号 株式会社吉野工業所
内

【氏名】 角田 義幸

【発明者】

【住所又は居所】 東京都江東区大島 3 丁目 2 番 6 号 株式会社吉野工業所
内

【氏名】 當麻 徹

【特許出願人】

【識別番号】 000000952

【氏名又は名称】 カネボウ 株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 000006909

【氏名又は名称】 株式会社 吉野工業所

【代理人】

【識別番号】 100076598

【弁理士】

【氏名又は名称】 渡辺 一豊

【電話番号】 03-3382-6771

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009162

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書
【発明の名称】 混合注出塗布装置
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 左右に並列に隣接組合せされた一対のエアゾール式の容器体(33)の上端部に、該容器体(33)の注出ノズル(35)を上方に突出させた状態で不動に組付く装着体(26)と、混合棒片(20)を起立設した注出筒(19)を上面中央に立設し、下方に開放した通路凹部(21)を形成したブロック本体(18)の下端後端縁に、前記注出ノズル(35)が密嵌入する一対の段付き孔(23)を開設し、該両段付き孔(23)に連通して、前記通路凹部(21)に下方から密嵌入して注出通路を形成する通路凸部(24)を上面に形成し、下面中央に摘まみ片(25)を垂下設した底蓋片(22)をヒンジ結合した通路ブロック体(17)と、左右に長い長円筒状の本体筒(9)の上端に嵌着段部(10)を介して頂板(11)を連設し、該頂板(11)に、左右に細長となった長円筒状の嵌合筒片(12)を立設すると共に、該嵌合筒片(12)内に開口する通路筒(13)を垂下設し、さらに前後中央部の前記本体筒(9)から嵌着段部(10)にかけての部分に係止窓孔(14)を開設して構成され、前記本体筒(9)内に、前記通路筒(13)に混合棒片(20)を挿入させかつ注出筒(19)を密嵌入させて通路ブロック体(17)を組付け、前記装着体(26)に搭載状に組付いた状態で、前記通路ブロック体(17)を介して注出ノズル(35)に押し下げ力を作用させる操作体(8)と、前記嵌着段部(10)に外嵌するドーム筒(3)の内面に、前記嵌合筒片(12)に密嵌入する密嵌筒片(4)を設け、該密嵌筒片(4)を上方に開放するスリット状の注出口(5)の周囲に位置する前記ドーム筒(3)の外周部分に、多数のブラシ片(6)を立設し、前記ドーム筒(3)の前後壁中央から、前記係止窓孔(14)に侵入して係止する組付き脚片(7)を垂下状に設けたブラシ体(2)と、から成る混合注出塗布装置。

【請求項 2】 左右に並列に隣接組合せされた一対のエアゾール式の容器体(33)の上端部に、該容器体(33)の注出ノズル(35)を上方に突出させた状態で不動に組付く装着体(26)と、混合棒片(20)を起立設した注出筒(19)を上面中央に立設し、下方に開放した通路凹部(21)を形成したブロック本体(18)の下端後端縁に、前記注出ノズル(35)が密嵌入する一対の段付き孔(23)を開設し、該両段付き孔(23)に連通して、前記通路凹部(21)に下方から密嵌入して注出通路を形成する通

路凸部(24)を上面に形成し、下面中央に摘まみ片(25)を垂下設した底蓋片(22)をヒンジ結合した通路ブロック体(17)と、左右に長い長円筒状の本体筒(9)の上端に頂板(11)を連設し、該頂板(11)に、左右に細長となった長円筒状の嵌合筒片(12)を立設すると共に、該嵌合筒片(12)内に開口する通路筒(13)を垂下設して構成され、前記本体筒(9)内に、前記通路筒(13)に混合棒片(20)を挿入させかつ注出筒(19)を密嵌入させて通路ブロック体(17)を組付け、前記装着体(26)に搭載状に組付いた状態で、前記通路ブロック体(17)を介して注出ノズル(35)に押し下げ力を作用させる操作体(8)と、前記頂板(11)上を覆うドーム筒(3)の内面に、前記嵌合筒片(12)に密嵌入してアンダーカット結合する密嵌筒片(4)を設け、該密嵌筒片(4)を上方に開放するスリット状の注出口(5)の周囲に位置する前記ドーム筒(3)の外面部分に、多数のブラシ片(6)を立設したブラシ体(2)と、から成る混合注出塗布装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、一対のエアゾール式容器から同時に内容物を噴出させると共に、この両噴出内容物を混合して注出し、注出した混合内容物をそのままブラシにより目的物に塗布する混合注出塗布装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

例えば、或る種の染毛剤のように、2種の薬液を使用時に混合するタイプのもので、薬液を個々にエアゾール式容器に収納し、使用時に、この一対のエアゾール式容器から内容物である薬液を同時に噴出させると共に、この噴出した薬液を混合して一か所から注出し、これをブラシを利用して頭髮等に塗布する装置として、特開平4-102569号公報に開示された技術がある。

【0003】

この従来技術は、薬液を収納した一対のエアゾール式容器を並列に隣接して収納する有底の収納ケースと、この収納ケースの上端開口部を塞ぐ形態でヒンジ結合され、下面に各エアゾール式容器の注出ノズルが密嵌入して突き当たる段付き

孔と、上面に吐出口と、そして两段付き孔と吐出口とを連通させる案内路とを形成したガイド部材の前端に、収納ケースの外側の前下方に垂下した押動レバーを連設した可動カバーと、吐出口に外嵌装着されるブラシ体と、から構成されている。

【0004】

この従来技術にあつては、容器を掴持した片手の指で押動レバーを収納ケース側に押圧することにより、ヒンジ結合部を軸としてガイド部材を下降傾動させ、これにより一对のエアゾール式容器の注出ノズルを同時に押し下げて開放し、両エアゾール式容器の薬液を、段付き孔、案内路そして吐出口を経て、ブラシ体に一体に混合吐出するので、一つの押動レバーに対する簡単な押圧操作により、二つのエアゾール式容器の内容物を、同時にかつ一体に混合した状態、すなわち使用することのできる状態で吐出し、そのままブラシ体を利用して塗布する、と云う優れた効果を発揮する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記した従来技術にあつては、吐出口を設けた可動カバーと収納ケースとがヒンジ結合されているので、内容物の注出通路を形成する部分、およびブラシ体部分を、エアゾール式容器への組付き部分と簡単に分離させることができず、このため使用後の注出通路形成部分およびブラシ体部分の洗浄が行い難い、と云う問題が有った。

【0006】

また、注出通路形成部分は、可動カバーとガイド部材との組合せにより構成されているのであるが、図示構成からは、両部材の分離が容易とは考え難く、むしろ確実なシール性を得るための接着固定されていると考えられるので、例え注出通路形成部分をエアゾール式容器への組付き部分と分離させても、通路内を洗浄することは殆ど不可能である、と云う問題があった。

【0007】

そこで、本発明は、上記した従来技術における問題点を解消すべく創案されたもので、内容物の注出通路を形成する部分およびブラシ部分を、注出通路を露出

させることができる構造に構成することを技術的課題とし、もって使用後、内容物注出通路形成部分およびブラシ部分に付着した内容物を、十分に洗い落とすことができるようにすることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記技術的課題を解決する本発明の内、請求項1記載の発明の手段は、左右に並列に隣接組合せされた一対のエアゾール式の容器体の上端部に、この容器体の注出ノズルを上方に突出させた状態で不動に組付く装着体を有すること、混合棒片を起立設した注出筒を上面中央に立設し、下方に開放した通路凹部を形成したブロック本体の下端後端縁に、容器体の注出ノズルが密嵌入する一対の段付き孔を開設し、この両段付き孔に連通して、通路凹部に下方から密嵌入して注出通路を形成する通路凸部を上面に形成し、下面中央に摘まみ片を垂下設した底蓋片をヒンジ結合した通路ブロック体を有すること、左右に長い長円筒状の本体筒の上端に嵌着段部を介して頂板を連設し、この頂板に、左右に細長となった長円筒状の嵌合筒片を立設すると共に、嵌合筒片内に開口する通路筒を垂下設し、さらに前後中央部の本体筒から嵌着段部にかけての部分に係止窓孔を開設して構成され、本体筒内に、通路筒に混合棒片を挿入させかつ注出筒を密嵌入させて通路ブロック体を組付け、装着体に搭載状に組付いた状態で、通路ブロック体を介して両容器体の注出ノズルに押し下げ力を作用させる操作体を有すること、操作体の嵌着段部に外嵌するドーム筒の内面に、操作体の嵌合筒片に密嵌入する密嵌筒片を設け、この密嵌筒片を上方に開放するスリット状の注出口の周囲に位置するドーム筒の外面部分に、多数のブラシ片を立設し、ドーム筒の前後壁中央から、操作体の係止窓孔に侵入して係止する組付き脚片を垂下状に設けたブラシ体を有すること、にある。

【0009】

この請求項1記載の発明による混合注出塗布装置は、ブラシ体と操作体と通路ブロック体との組合せ物である塗布体、すなわち内容物の注出通路形成部分とブ

ラシ体とから構成される部分と、装着体、すなわち容器体への組付き部分とから構成されている。

【0010】

塗布体を構成するブラシ体と操作体と通路ブロック体の相互間は、操作体に対してブラシ体は、その組付き脚片を指先で摘むようにした押圧しながら引き上げるにより、簡単に分離でき、また操作体に対して通路ブロック体は、摘まみ片を摘んで引き下げるにより、簡単に分離でき、そして容器体の注出ノズルに対して通路ブロック体は、塗布体を装着体から上方に分離させるのと一緒に分離する。

【0011】

ブラシ体は、操作体から分離することにより、注出通路を形成する密嵌筒片内を開放し、操作体は、ブラシ体および通路ブロック体から分離することにより、注出通路を形成する嵌合筒片内と通路筒内を開放し、通路ブロック体は、操作体および容器体の注出ノズルから分離して、そのブロック本体に対して底蓋片を回動開放することにより、注出通路を形成する注出筒内と通路凹部と通路凸部と两段付き孔内を開放する。

【0012】

このように、個々に分離したブラシ体と操作体と通路ブロック体は、その注出通路形成部分の全てを開放する状態となるので、この通路形成部分に残存付着した内容物を簡単にかつ十分に洗い落とすことができる。

【0013】

上記技術的課題を解決する本発明の内、請求項2記載の発明の手段は、左右に並列に隣接組合せされた一対のエアゾール式の容器体の上端部に、この容器体の注出ノズルを上方に突出させた状態で不動に組付く装着体を有すること、混合棒片を起立設した注出筒を上面中央に立設し、下方に開放した通路凹部を形成したブロック本体の下端後端縁に、容器体の注出ノズルが密嵌入する一対の段付き孔を開設し、この两段付き孔に連通して、通路凹部に下方から密嵌入して注出通路を形成する通路凸部を上面に形成し、下面中央に摘まみ片を垂下設した底蓋片をヒンジ結合した通路ブロック体を有すること、

左右に長い長円筒状の本体筒の上端に頂板を連設し、この頂板に、左右に細長となった長円筒状の嵌合筒片を立設すると共に、この嵌合筒片内に開口する通路筒を垂下設して構成され、本体筒内に、通路筒に混合棒片を挿入させかつ注出筒を密嵌入させて通路ブロック体を組付け、装着体に搭載状に組付いた状態で、通路ブロック体を介して容器体の注出ノズルに押し下げ力を作用させる操作体を有すること、

操作体の頂板上を覆うドーム筒の内面に、操作体の嵌合筒片に密嵌入してアンダーカット結合する密嵌筒片を設け、この密嵌筒片を上方に開放するスリット状の注出口の周囲に位置するドーム筒の外面部分に、多数のブラシ片を立設したブラシ体を有すること、

にある。

【0014】

この請求項2記載の発明による混合注出塗布装置は、請求項1記載の発明と同様に、ブラシ体と操作体と通路ブロック体との組合せ物である塗布体、すなわち内容物の注出通路形成部分とブラシ体とから構成される部分と、装着体、すなわち容器体への組付き部分とから構成されている。

【0015】

塗布体を構成するブラシ体と操作体と通路ブロック体の相互間は、操作体に対してブラシ体は、その密嵌筒片を操作体の嵌合筒片に密嵌入させて、分離不能にアンダーカット結合させて一体的に組付き、また操作体に対して通路ブロック体は、摘まみ片を摘んで引き下げることにより、簡単に分離でき、そして容器体の注出ノズルに対して通路ブロック体は、塗布体を装着体から上方に分離させるのと一緒に分離する。

【0016】

ブラシ体と操作体との組合せ物は、通路ブロック体から分離することにより、通路筒内を開放し、通路ブロック体は、操作体および容器体の注出ノズルから分離して、そのブロック本体に対して底蓋片を回動開放することにより、注出通路を形成する注出筒内と通路凹部と通路凸部と両段付き孔内を開放する。

【0017】

通路ブロック体は、請求項 1 記載の発明と同様に、その注出通路形成部分の全てを開放する状態となるので、残存付着した内容物を簡単に洗い落とすことができるのであるが、ブラシ体と操作体との組合せ物は、その注出通路形成部分の全てを開放するわけではないので、残存付着した内容物の洗い落とし処理が、多少面倒となる。

【0018】

しかしながら、操作体に対するブラシ体の組付きが強固に確保されるので、ブラシ体の安定した使用状態と確実なシール性とを得ることができ、またブラシ体と操作体とを分離させない分、分解取扱いおよび構造が簡単となる。

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の一実施例を、図面を参照しながら説明する。

図 1 ないし図 9 は、本発明の第 1 の発明の実施例を示すもので、エアゾール式容器である容器体 33 は、細長有底円筒状をした金属製本体の縮径した口部に、弁による開閉機能部を備えた注出ノズル 35 を有する金属製のキャップをカシメ固定して頭部 34 を形成し、注出ノズル 35 は、この頭部 34 上面に起立した状態となっている。

【0020】

装着体 26（図 9 参照）は、左右に並列に隣接配置された一対の容器体 33 の上端部に外嵌する長円筒状の外装筒 27 の上端に、開口部 29 を開設して内鏑状となった頂壁 28 を連設し、この頂壁 28 の下面の左右両端部に、容器体 33 の頭部 34 に外嵌して、頭部 34 直下の周溝部にアンダーカット結合する、略半円弧筒片状の嵌着筒片 31 を垂下設すると共に、頂壁 28 の上面の開口部 29 左右開口縁に、半円弧筒片状のガイド片 30 を起立設し、されに外装筒 27 の前後表面の中央部に、縦突条状の支え突片 32 を間隔を開けて一対ずつ設けて構成されている。

【0021】

この装着体 26 は、並列に隣接配置された一対の容器体 33 に、上方から被嵌状に組付けることにより、両嵌着筒片 31 が容器体 33 の頭部 34 に強固にかつ

不動に外嵌結合して組付き、注出ノズル 35 は開口部 29 から突出した状態となる。

【0022】

また、外装筒 27 は長円筒状となっているので、一对の容器体 33 に外装した状態では、その前後壁の中央部分と両容器体 33 との間に、両容器体 33 の隣接部に形成される谷状部により、空間が形成される。

【0023】

塗布体 1 を構成するブラシ体 2 と操作体 8 と通路ブロック体 17 の内、通路ブロック体 17 (図 8 参照) は、多数の傾斜した鍔片を有する混合棒片 20 を上端から起立設した注出筒 19 を上面中央に立設し、下面に下方に開放した左右に長い通路凹部 21 を形成したブロック本体 18 と、容器体 33 の注出ノズル 35 が突き抜け不能に密嵌入する一对の段付き孔 23 を開設し、この両段付き孔 23 を連通し、通路凹部 21 に下方から密嵌入して注出通路を形成する通路凸部 24 を上面に形成し、下面中央に摘まみ片 24 を垂下設した底蓋片 22 とを、その後端縁間をヒンジ結合して構成され、ブロック本体 18 の前端縁部に、閉状態となった底蓋片 22 の前端縁に乗り越え係止して、この底蓋片 22 の閉状態を確保する係止機能部分が設けられている。

【0024】

また、塗布体 1 を構成するブラシ体 2 と操作体 8 と通路ブロック体 17 の内、操作体 8 (図 6 と図 7 参照) は、左右に長い長円筒状の本体筒 9 の上端に、右から左に 30° の角度で下降傾斜した嵌着段部 10 を介して頂板 11 を連設し、この頂板 11 に、左右に細長となった長円筒状の嵌合筒片 12 を立設すると共に、この嵌合筒片 12 内に開口する通路筒 13 を垂下設し、また前後中央部の本体筒 9 から嵌着段部 10 にかけての部分に、係止窓孔 14 を開設し、さらに本体筒 9 の前後外面の中央下端部から、下端部内面に引き下げ突片 16 を突設した操作脚片 15 を垂下設して構成されている。

【0025】

この操作体 8 は、通路ブロック体 17 を組付けた状態で、通路ブロック体 17 の段付き孔 23 を注出ノズル 35 に密嵌合させた状態で、装着体 26 に、その両

操作脚片 15 で跨ぐ姿勢で搭載組付けされた際に、装着体 26 の外装筒 27 の下面縁の一部である当接下縁に対向する両操作脚片 15 の下端部の内側面箇所引き下げ突片 16 が位置しており、この引き下げ突片 16 の内方に下降傾斜した上面が外装筒 27 の当接下縁に軽く当接している。

【0026】

それゆえ、両操作脚片 15 の下端部を指先で摘むようにして押圧すると、外装筒 27 の当接下縁に軽く当接している引き下げ突片 16 の傾斜面の作用により、操作体 8 は通路ブロック体 17 と一緒に引き下げられ、注出ノズル 35 を押し下げることになる。

【0027】

両操作脚片 15 は、操作体 8 が一对の容器体 33 と装着体 26 との組合せ物に組付けられると、一对の支え突片 32 の間に位置して、外装筒 27 の前後表面に沿って垂下状に位置するが、この操作脚片 15 の外面は、両側の支え突片 32 よりも外方に突出することはない。

【0028】

また、両操作脚片 15 は、一对の容器体 33 と装着体 26 との組合せ物に対して操作体 8 が組付けられた状態で、引き下げ突片 16 を外装筒 27 の当接下縁に軽く当接させて、この外装筒 27 の当接下縁に軽く係止した状態となっているので、この係止力が操作体 8 の組付きを保持することになる。

【0029】

そして、両操作脚片 15 の引き下げ突片 16 は、外装筒 27 と容器体 33 との間に空間が形成される、前後側の中央部分に位置するので、両操作脚片 15 を摘まみ状に押圧操作した際に、引き下げ突片 16 は容器体 33 に突き当たることなく内方に変位して、両操作脚片 15 を確実に引き下げる。

【0030】

この操作体 8 に対する通路ブロック体 17 の組付けは、本体筒 9 内に、通路筒 13 に混合棒片 20 を挿入しかつ注出筒 19 を密嵌入させた状態で、通路ブロック体 17 を嵌入させることにより達成され、この状態では、通路筒 13 内を通過する 2 種の内容物は、混合棒片 20 の多数の鏝状片により攪拌されて、十分に混

合されることになる。

【0031】

また、操作体 8 に通路ブロック体 17 を組付けた状態では、左右の本体筒 9 と通路ブロック体 17 との間に、装着体 26 のガイド片 30 が昇降自在に遊嵌する隙間が形成され、この隙間に対するガイド片 30 の遊嵌により、装着体 26 に対する操作体 8 の搭載組付き姿勢を安定的に保持する。

【0032】

塗布体 1 を構成するブラシ体 2 と操作体 8 と通路ブロック体 17 の内、ブラシ体 2 (図 4 と図 5 参照) は、操作体 8 の嵌着段部 10 に外嵌するドーム筒 3 の内面に、嵌合筒片 12 に密嵌入する密嵌筒片 4 を垂下状に設け、この密嵌筒片 4 の内部を上方に開放する左右に細長く延びたスリット状の注出口 5 を、ドーム筒 3 の上面箇所開設し、この注出口 5 の周囲のドーム筒 3 上面に多数のブラシ片 6 を立設し、ドーム筒 3 の前後壁中央から、操作体 8 の係止窓孔 14 に侵入して係止する組付き脚片 7 を垂下状に設けて構成されている。

【0033】

このブラシ体 2 の組付き脚片 7 は、図 3 から明らかなように、その一部を外方に膨出させているので、指先により摘まみ状に押圧し易く、このためブラシ体 2 の操作体 8 からの分離が行い易い。

【0034】

なお、図 2 から明らかなように、ブラシ体 2 は左方に $20 \sim 40^\circ$ 、望ましくは 30° 傾いているので、容器体 33 を持って、ブラシ体 2 のブラシ片 6 間に混合注出された内容物を、頭髮等の目的箇所に塗布する際に、このブラシ体 2 を目的箇所に沿った姿勢とすることが容易であり、これにより注出した内容物の塗布操作が行い易くなる。

【0035】

図 10 は、本発明の第 2 の発明の実施例の、ブラシ体 2 と操作体 8 との組合せ物の構造を示すもので、このブラシ体 2 と操作体 8 以外の部分の構成は、第 1 の発明の実施例と同じである。

【0036】

ブラシ体 2 と操作体 8 とは、ブラシ体 2 の密嵌筒片 4 を、操作体 8 の嵌合筒片 12 に密嵌入させると共に、不動にアンダーカット結合させることにより、分離不能に組み合わさっており、このため着脱自在な組付きを達成するための構造部分である、ブラシ体 2 の組付き脚片 7、および操作体 8 の係止窓孔 14 は設けられていない。

【0037】

図 11 および図 12 は、装着体 26 の他の構造例を示すもので、装着体 26 の本体部分から、装着筒片 31 だけを分離させた構造で、装着筒片 31 を除く装着体 26 の他の部分の構造には変わりがなく、装着筒片 31 は、装着体 26 とは別体でかつ装着体 26 にアンダーカット結合する結合体 36 に設けられている。

【0038】

結合体 36 は、左右に長い長円板状の連結板 37 の下面両側端にそれぞれ装着筒片 31 を垂下状に設け、両装着筒片 31 の外周面に、装着体 26 とアンダーカット結合するための係止突条 39 を設け、さらに各装着筒片 31 の内側となる連結板 37 部分に、容器体 33 の注出ノズル 35 が突出するための開口 38 が開設されている。なお、連結板 37 の中央には、通路ブロック体 17 の摘まみ片 25 が挿通する逃げ孔が設けられている。

【0039】

この結合体 36 は、一对の容器体 33 の頭部 34 に外嵌することにより、この一对の容器体 33 の隣接した並列組付き姿勢を安定して確保し、これにより容器体 3 に対する装着体 26 の組付けに先立つ、一对の容器体 33 に対するシュリンクラベルの装着を、良好な状態で達成できるようにしている。

【0040】

【発明の効果】

本発明は、上記した構成となっているので、以下に示す効果を奏する。

請求項 1 記載の発明にあっては、内容物の注出通路を形成する塗布体を構成する、ブラシ体と操作体と通路ブロック体とを分離できる構造として、注出通路の全てを露出させることができるものとしたので、注出通路に残存付着した内容物を、容易にかつ十分に洗い落とすことができ、内容物の塗布使用を好ましい状態

で繰り返すことができる。

【 0 0 4 1 】

また、塗布体を構成するブラシ体と操作体と通路ブロック体の相互間の組付けが、単純な嵌合または係止により達成されているので、簡単で容易な操作で相互間の分離、組付けを達成することができ、これにより簡単に扱うことができる。

【 0 0 4 2 】

請求項 2 記載の発明にあっては、ブラシ体と操作体とを分離不能とした分、残存付着した内容物の洗い落としが面倒となるものの、注出通路に残存付着した内容物を、簡単にかつ充分に洗い落とすことができ、内容物の塗布使用を好ましい状態で繰り返すことができる。

【 0 0 4 3 】

また、内容物の塗布機能部分であるブラシ体を操作体に不動に固定したので、ブラシ体による内容物の塗布操作を安定して達成することができると共に、高いシール性を得ることができるので、良好な使用状態を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の発明の一実施例を示す、分解説明図。

【図 2】

図 1 に示した実施例の、一部を残した縦断正面図。

【図 3】

図 1 に示した実施例の、不規則縦断側面図。

【図 4】

図 1 に示した実施例の、ブラシ体の縦断正面図。

【図 5】

図 4 に示したブラシ体の、縦断側面図。

【図 6】

図 1 に示した実施例の、操作体の縦断正面図。

【図 7】

図 6 に示した操作体の、半縦断側面図。

【図 8】

図 1 に示した実施例の、通路ブロック体の開放状態の縦断側面図。

【図 9】

図 1 に示した実施例の、装着体の半縦断正面図。

【図 1 0】

本発明の第 2 の発明の一実施例を示す、一部破断した要部正面図。

【図 1 1】

装着体の他の実施例を示す、一部破断した正面図。

【図 1 2】

図 1 1 に示した実施例における、結合体の平面図。

【符号の説明】

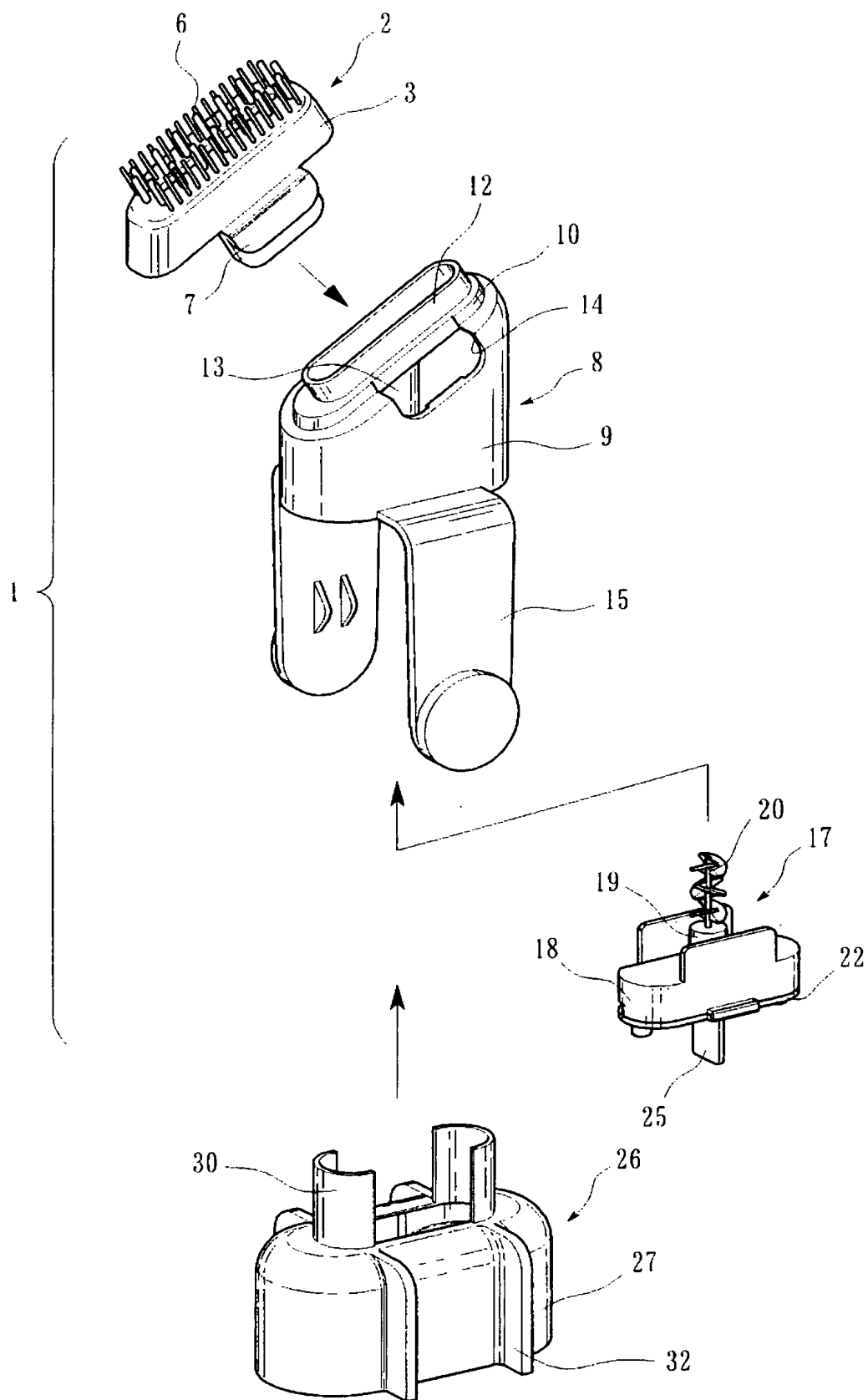
- 1 ； 塗布体
- 2 ； ブラシ体
- 3 ； ドーム筒
- 4 ； 密嵌筒片
- 5 ； 注出口
- 6 ； ブラシ片
- 7 ； 組付き脚片
- 8 ； 操作体
- 9 ； 本体筒
- 1 0 ； 嵌着段部
- 1 1 ； 頂板
- 1 2 ； 嵌合筒片
- 1 3 ； 通路筒
- 1 4 ； 係止窓孔
- 1 5 ； 操作脚片
- 1 6 ； 引き下げ突片
- 1 7 ； 通路ブロック体

- 1 8 ; ブロック本体
- 1 9 ; 注出筒
- 2 0 ; 混合棒片
- 2 1 ; 通路凹部
- 2 2 ; 底蓋片
- 2 3 ; 段付き孔
- 2 4 ; 通路凸部
- 2 5 ; 摘まみ片
- 2 6 ; 装着体
- 2 7 ; 外装筒
- 2 8 ; 頂壁
- 2 9 ; 開口部
- 3 0 ; ガイド片
- 3 1 ; 嵌着筒片
- 3 2 ; 支え突片
- 3 3 ; 容器体
- 3 4 ; 頭部
- 3 5 ; 注出ノズル
- 3 6 ; 結合体
- 3 7 ; 連結板
- 3 8 ; 開口
- 3 9 ; 係止突条

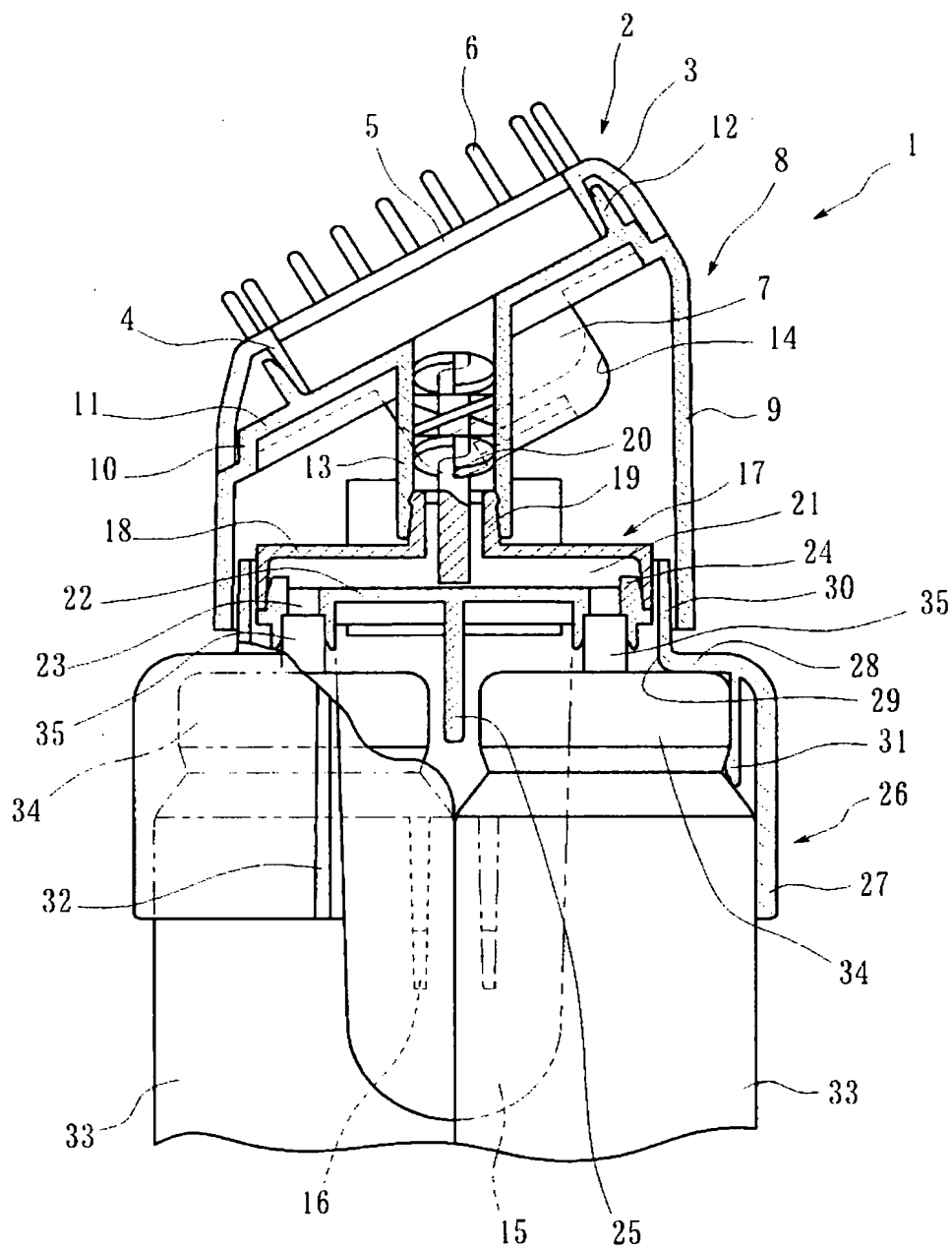
【書類名】

図面

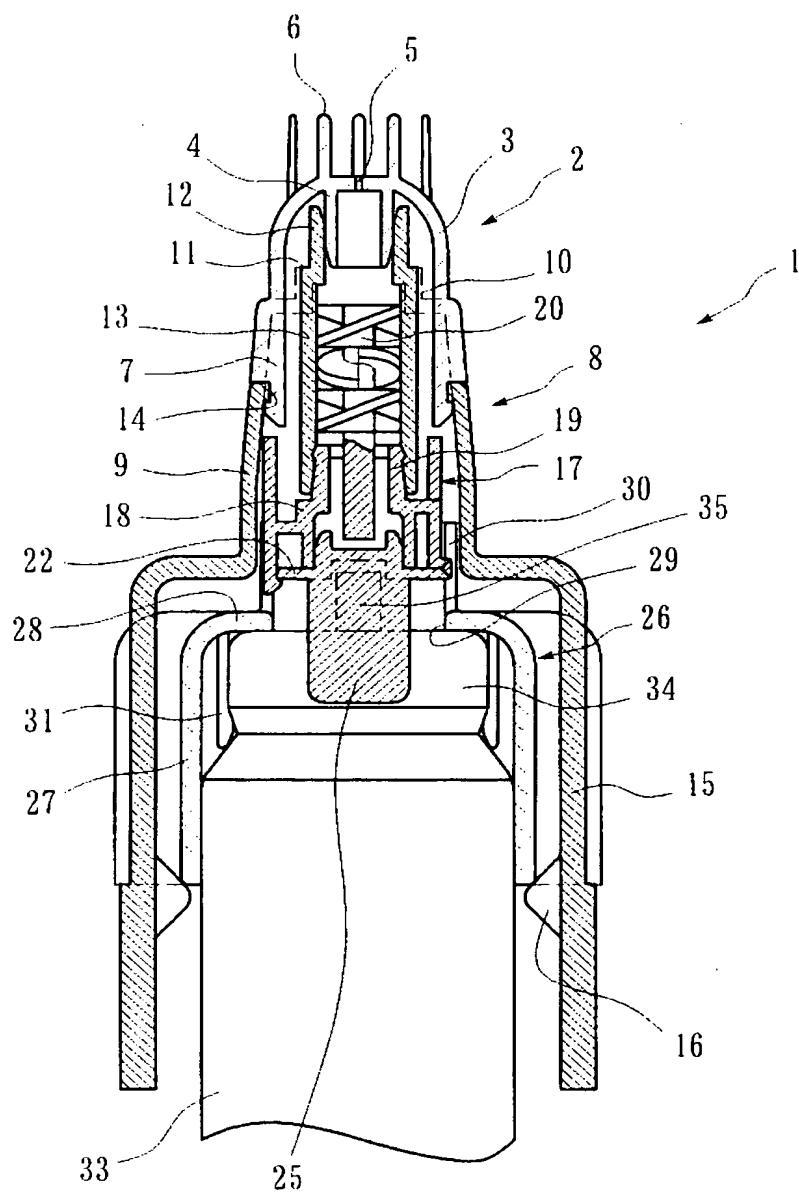
【図 1】



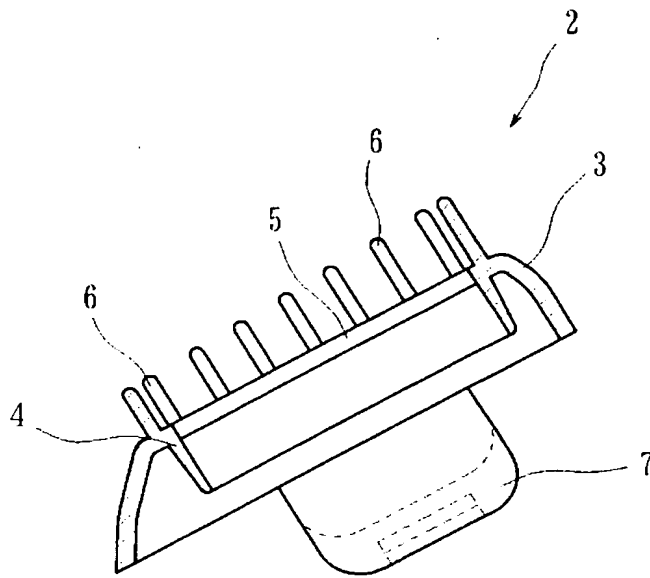
【図 2】



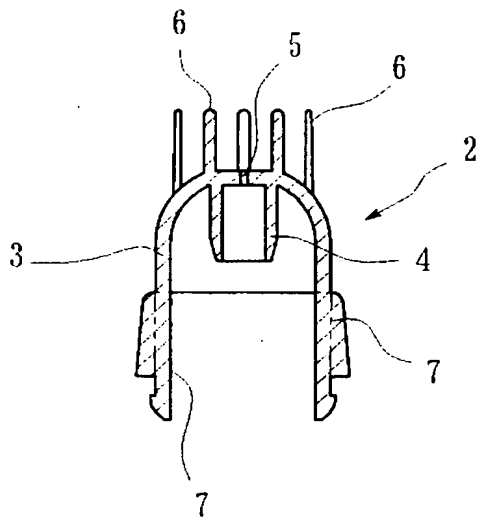
【図 3】



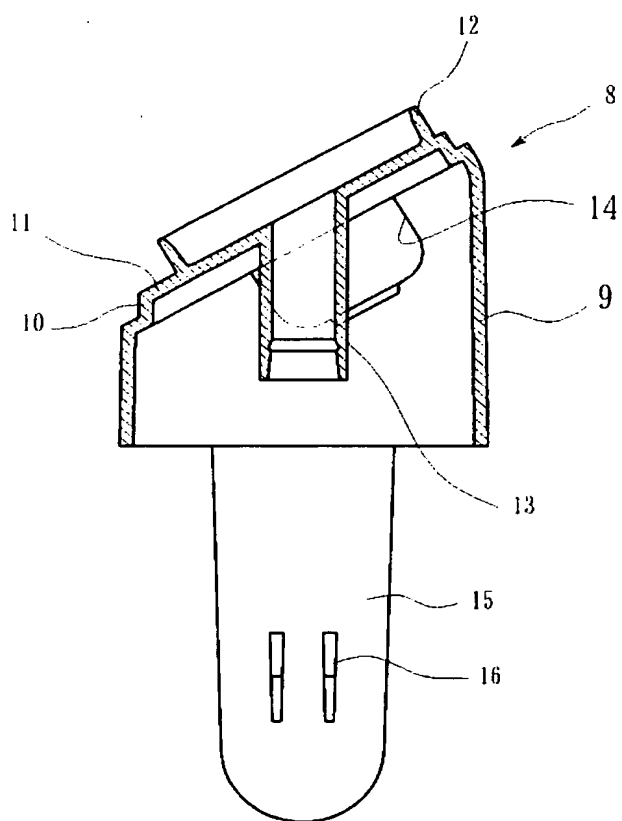
【図 4】



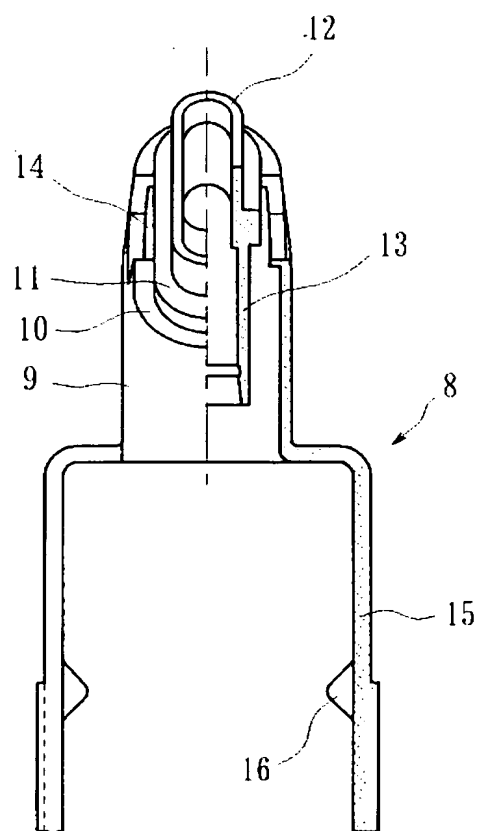
【図 5】



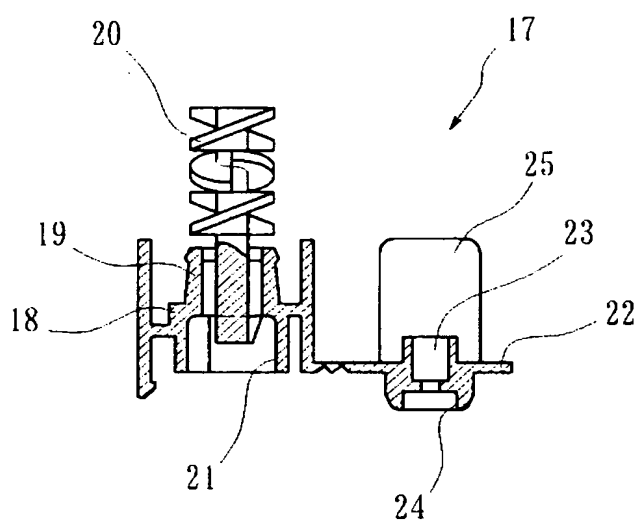
【図 6】



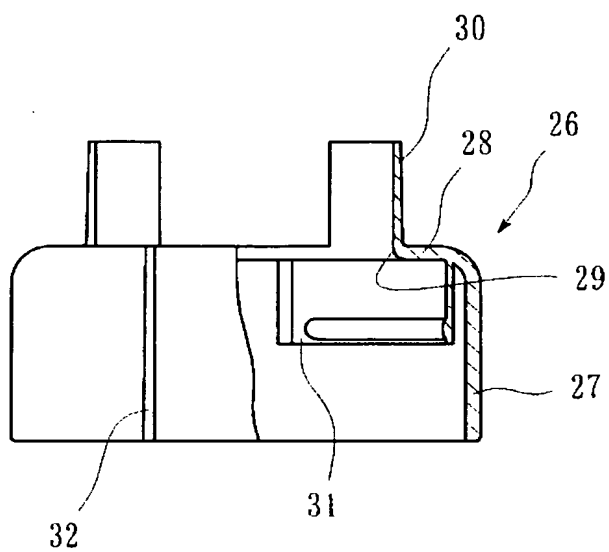
【図 7】



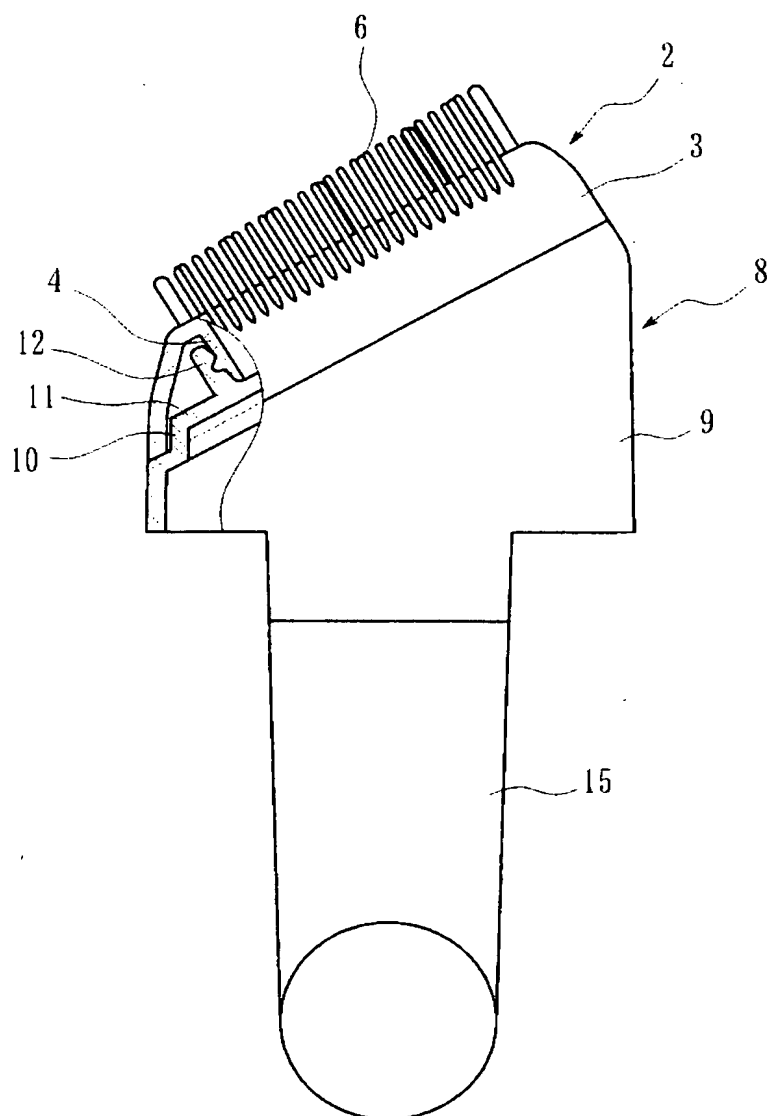
【図 8】



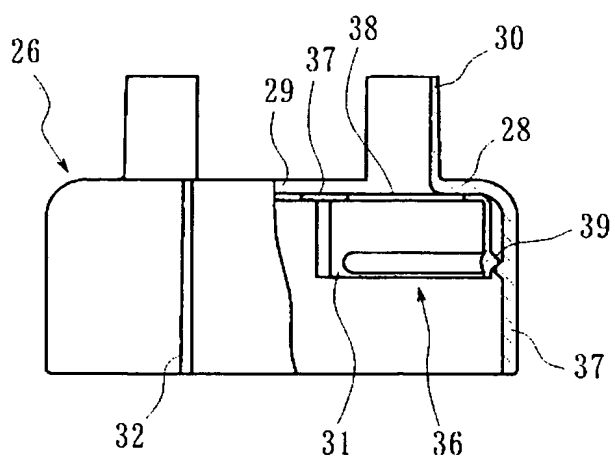
【図 9】



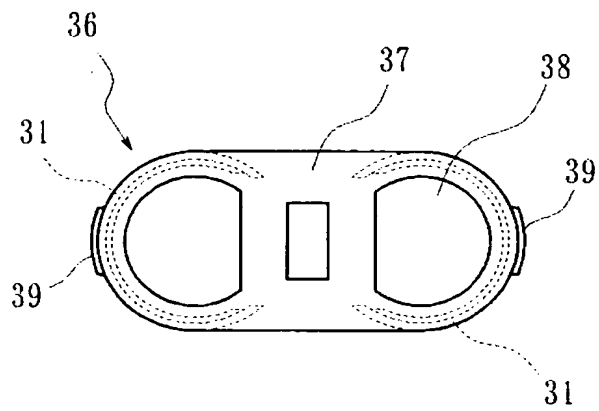
【図 10】



【図 11】



【図 12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 内容物を混合注出塗布する装置において、内容物の注出通路を形成する部分およびブラシ部分を、注出通路を露出できる構成とすることにより、注出通路形成部分およびブラシ部分に付着した内容物を簡単にかつ十分に洗い落とせるようにする。

【解決手段】 一対のエアゾール式容器体 33 に不動に外装する装着体 26 と、容器体 33 の注出ノズル 35 からの内容物を混合して導き、かつ内部通路を書籍状に開放可能とした通路ブロック体 17 と、組付けた通路ブロック体 17 を介して注出ノズル 35 に押し下げ力を作用させると共に、通路ブロック体 17 からの内容物を導く操作体 8 と、操作体 8 からの内容物を多数のブラシ片 6 間に注出するブラシ体 2 とから構成し、各部材の分離を容易とした。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 1 - 1 9 3 9 0 7

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 0 9 5 2]

1. 変更年月日

2 0 0 1 年 1 月 4 日

[変更理由]

名称変更

住 所

東京都墨田区墨田五丁目 1 7 番 4 号

氏 名

カネボウ株式会社

特願 2 0 0 1 - 1 9 3 9 0 7

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 6 9 0 9]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 3 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都江東区大島 3 丁目 2 番 6 号

氏 名

株式会社吉野工業所